

1 総会に関する事項

令和6.5.28 午後2時から上野精養軒において第88回定時総会を開催し、下記の事項を決定した。

| | | |
|------|-------------------|-----------------|
| 審議事項 | 第1号議案 | 令和5年度事業報告承認の件 |
| | 第2号議案 | 令和5年度決算承認の件 |
| | 第3号議案 | 令和6年度事業計画書報告の件 |
| | 第4号議案 | 令和6年度収支予算書等報告の件 |
| | 第5号議案 | 会員人事報告の件 |
| | 第6号議案 | 選定顧問報告の件 |
| | 第7号議案 | 理事・監事の改選承認の件 |
| 報告事項 | 令和6年度称号授与予定者報告の件 | |
| | 第10回日展巡回展開催報告の件 他 | |

2 理事会に関する事項

| 月 日 | 回 数 | 主 な 審 議 事 項 |
|--------------|-----|--|
| 令和 6. 5. 10 | 第1回 | 1. 令和5年度・事業報告及び決算承認の件 2. 選定顧問承認の件 3. 理事・監事の改選の件 4. 令和6年度 名誉会員及び特別会員 称号授与予定者承認の件 5. 第11回日展 開催要綱承認の件 6. 第11回日展 審査員候補者推薦委員会の委員承認の件 7. 会友資格喪失者承認の件 報告事項 理事長、副理事長の職務執行状況について 退会者、準会員辞退者及び会友辞退者について 第10回日展巡回展入場者数について 第10回日展巡回展神戸会場 決算書について 改修後の大阪市立美術館における巡回展開催について |
| 令和 6. 5. 28 | 第2回 | 1. 理事長・副理事長の選定の件 |
| 令和 6. 7. 19 | 第3回 | 1. 資産取得資金（修繕積立預金）の取崩し承認の件 2. 日展運営委員会の新委員選考承認の件 3. 第11回日展審査員・係承認の件 4. 大臣賞等選考委員会の委員承認の件 報告事項 会友辞退者について 令和6年能登半島地震被災者支援のための寄附金受領について アートシティ富士五湖プロジェクト「日展の美」展開催について |
| 令和 6. 10. 31 | 第4回 | 1. 会友資格喪失者承認の件 2. 第11回日展巡回展基本選定作品承認の件 3. 第11回日展巡回展陳列指導者の選考承認の件 |

| | | |
|-------------|-------|--|
| 令和 7. 3. 19 | 第 5 回 | <p>報告事項</p> <p>理事長、副理事長の職務執行状況について</p> <p>閉会パーティーについて</p> <p>退会者及び会友辞退者について</p> <p>1. 令和7年度日展 関連事項承認の件</p> <p> 展覧会 開催回数の表記について</p> <p> 会期・観覧時間及び入場料金について</p> <p> 出品手数料について</p> <p> 出陳者内覧会について</p> <p> 各科出品者懇親会について</p> <p> 開会式・テープカットについて</p> <p> オープニング・パーティーについて</p> <p> 授賞式について</p> <p> 会期中のイベントについて</p> <p> 巡回日程(案)について</p> <p>2. 審査員宿泊料の改定(案)承認の件</p> <p>3. 日展会館会場貸出料及び工芸台貸出料の改定(案)承認の件</p> <p>4. 会員人事承認の件</p> <p>5. 準会員人事承認の件</p> <p>6. 会友人事承認の件</p> <p>7. 令和7年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)等承認の件</p> <p>8. 定時総会日時及び予定議案承認の件</p> <p>報告事項</p> <p> 日展会館大規模修繕工事の完了について</p> <p> 新公益法人制度（令和7年4月1日～）について</p> <p> 和光「第9回 美の魁け一日展の現代―」展について</p> |
|-------------|-------|--|

3 監事会に関する事項

| 月 日 | 回 数 | 主 な 審 議 事 項 |
|-------------|-------|----------------------|
| 令和 6. 5. 10 | 第 1 回 | 1. 令和5年度事業報告及び決算承認の件 |

4 審査員候補者推薦委員会に関する事項

| 月 日 | 回 数 | 主 な 審 議 事 項 |
|------------|-------|------------------|
| 令和 6. 7. 2 | 第 1 回 | 1. 審査員候補者の選考承認の件 |

5 係（展覧会）会に関する事項

| 月 日 | 回 数 | 主 な 審 議 事 項 |
|------------|-------|---|
| 令和 6. 8. 9 | 第 1 回 | 1. 展示室各科割り振りに関する件 2. 入場料金に関する件 3. 入場券および招待状等印刷物承認の件 4. 特別入場券販売促進に関する件 5. 「日展目録」表紙承認の件 6. 各科展覧会打合せ会承認の件 7. 搬入受付係とアシストに関する件 8. 出品者懇親会に関する件 9. 事務日程に関する件 10. 各科展覧会の記録に関する件 11. その他 |

6 審査員総会に関する事項

| 月 日 | 回 数 | 主 な 審 議 事 項 |
|-------------|-------|--|
| 令和 6. 9. 30 | 第 1 回 | 1. 各科審査主任承認の件 2. 日展審査員行動基準（ガイドライン）等の確認、審査方針承認の件 他 |

7 大臣賞選考委員会に関する事項

| 月 日 | 回 数 | 主 な 審 議 事 項 |
|--------------|-------|------------------------------|
| 令和 6. 10. 31 | 第 1 回 | 1. 内閣総理大臣賞の件 2. 文部科学大臣賞の件 |

8 東京都知事賞選考委員会に関する事項

| 月 日 | 回 数 | 主 な 審 議 事 項 |
|--------------|-------|-------------|
| 令和 6. 10. 31 | 第 1 回 | 1. 東京都知事賞の件 |

9 日展会員賞選考委員会に関する事項

| 月 日 | 回 数 | 主 な 審 議 事 項 |
|--------------|-------|-------------|
| 令和 6. 10. 31 | 第 1 回 | 1. 日展会員賞の件 |

10 委員会等に関する事項

委員の就退任等に関する事項

令和 6. 7. 19 令和6年度第3回理事会において下記委員会の新委員を選考した。

〔日展運営委員会〕

福田千恵 佐藤 哲 山田朝彦 春山文典 高木聖雨

令和 7. 5. 13 令和7年度第1回理事会において、委員会組織再編について協議し、下記を決定した。

- ・出版委員会の廃止
- ・日展ニュース委員会の名称を「出版・編集委員会」に変更

令和 7. 5. 13 令和7年度第1回理事会において下記委員会の新委員を選考した。

(令和7～8年度委員)

〔諮問委員会〕

(外部委員) ※職名・肩書は令和7年5月現在

秋元雄史(東京藝術大学名誉教授)

梅崎 壽(東京地下鉄株式会社名誉顧問)

黒川 廣子(東京藝術大学大学美術館 館長)

島谷弘幸(皇居三の丸尚蔵館 館長)

室伏きみ子(お茶の水女子大学名誉教授)

(内部委員)

米倉正美 平野行雄 勝野眞言 相武常雄 田中徹夫

〔出版・編集委員会(旧・日展ニュース委員会)〕

亀山祐介 西田眞人 浅見文紀 松野 行 野原昌代 堀内秀雄

上原利丸 古瀬政弘 歳森芳樹 山本大悦

〔広報委員会〕

長谷川喜久 間瀬静江 石田宗之 寺久保文宣 寺山三佳 中原篤徳

林 香君 村田好謙 佐々木宏遠 吉澤鐵之

諮問委員会

令和6年度における会合は1回開催

(第1回) 令和7. 4. 9 ※都合により令和7年度に入ってから開催となった。

主な審議事項

1. 第11回日展の応募状況・審査結果等について、事務局より委員に説明後、意見交換を行った。(第1回)
2. これからの日展(公募展)の在り方について、意見交換を行った。(第1回)

日展運営委員会

令和6年度における会合は2回開催

(第1回) 令6. 4. 25・(第2回) 令7. 2. 5

主な審議事項

1. 資産取得資金（修繕積立預金）の取崩しについて協議、検討した。(第1回)
2. 令和5年度決算関連事項について協議、検討した。(第1回)
3. 「日本美術展覧会」開催回数の表記について、令和7年度より明治40年第1回文展からの通算回数で表記し「第118回日展」とする案を協議、検討し、理事会に諮ることを確認した。(第2回)
4. 開催要綱案について検討した。(第2回)
5. 日展名誉総裁の人選等について意見交換を行った。(第2回)
6. 令和7年度日展事業予算案について協議、検討した。(第2回)

日展ニュース委員会

令和6年度における会合は4回開催

(第1回) 令6. 5. 29・(第2回) 9. 10・(第3回) 11. 15・(第4回) 12. 9

主な審議事項

1. ニュース187号の寄稿文「各地からの出品者の思い」各科入選者1名 計5名、「作家人生－私の仕事－」2名、「新会員より」の校正を行った。(第1回)
2. ニュース188号の掲載内容を検討した。(第1回)
3. ニュース189号の座談会について協議した。(第1回)
4. ニュース188号の進捗状況について報告した。(第2回)
5. ニュース188号の寄稿文「各科審査員」各科3名 計15名、「日展ゆかりの美術館散策」の校正を行った。(第2回)
6. ニュース189号の掲載内容を検討した。(第2回)
7. ニュース189号の座談会のテーマ、構成、出席者を検討した。(第2回)
8. ニュース189号の座談会の進行等を確認した。(第3回)
9. ニュース189号の進捗状況について報告した。(第3回)
10. ニュース189号の座談会を開催した。(第3回)
11. ニュース189号「座談会」、寄稿文「新入選者－喜びと抱負－」各科3～6名 計18名の校正を行った。(第4回)
12. ニュース190号の掲載内容を検討した。(第4回)

出版委員会

令和6年度における会合は2回開催

(第1回) 令6. 9. 4・(第2回) 10. 31

主な審議事項

1. 本年度の事業計画を踏まえて、第11回日展刊行物およびオフセット印刷絵はがき・カラー写真について協議し、内容、発注業者、仕入・販売価格、印刷部数等を決定した。(第1回)
2. 前回まで1業者でおこなっていた作品撮影は、今回から3業者に分けておこなうものとし、各社の見積金額を承認した。(第1回)
3. オンデマンド印刷絵はがきの注文状況を報告し、今回の見積金額を承認した。(第1回)
4. 「日展作品集」の初版について、色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
5. 各科「日展図録」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)

広 報 委 員 会

令和6年度における会合は6回開催

(第1回) 令6. 4. 19・(第2回) 4. 25・(第3回) 6. 5・(第4回) 7. 17・(第5回) 9. 9・(第6回) 令7. 3. 7

※第1回及び第4回は小委員会

主な審議事項

1. 第11回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第1回・第2回・第3回)
2. 日展作家インタビューについて検討した。(第1回)
3. 各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第1回・第2回・第3回)
4. 講演会・シンポジウム・映像による作品解説等について検討した。(第1回・第2回・第3回)
5. 特別入場券の販売促進計画を承認した。(第3回)
6. オープニング・パーティーの実施内容を検討した。(第1回・第2回・第3回)
7. 各科審査主任による授賞作品解説撮影について打合せをした。(第4回)
8. オープニング・パーティーの会場を下見し、実施内容の細部打合せをした。(第5回)
9. 第11回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第5回)
10. 第11回日展のイベント企画案について検討した。(第5回)
11. 令和6年度の広報活動(告知キャンペーンを含む)の実施内容及び実績について報告、問題点を検討した。(第6回)
12. 令和7年度の告知キャンペーンの基本方針について検討した。(第6回)

アートプロジェクト

令和6年度における会合は1回開催

(第1回) 令6. 5. 2

主な審議事項

1. 令和6年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」)を検討した。(第1回)

アートプロジェクトの令和7年5月1日現在のメンバー(オブザーバー含む)は下記の通り。

〔アートプロジェクト〕

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 岩田 壮平 | 亀山 祐介 | 川田 恭子 | 能島 浜江 | 米谷 清和 | 佐藤 哲 |
| 茅野 吉孝 | 桑原 富一 | 佐藤 祐治 | 田中 里奈 | 田辺 知治 | 前田 潤 |
| 山田 朝彦 | 寺山 三佳 | 中原 篤徳 | 廣川 政和 | 山崎 茂樹 | 吉岡 徹 |
| 相武 常雄 | 青木 宏憧 | 上原 利丸 | 林 香君 | 福富 信 | 小島 泰明 |
| 高木 聖雨 | 井上 清雅 | 植松 龍祥 | 岩井 秀樹 | | |

11 「日本美術展覧会」の開催

第11回日本美術展覧会

1. 会 期 令和6年11月1日より11月24日まで 21日間

〔休 館 日〕 毎週火曜日

〔観覧時間〕 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

2. 会 場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)

3. 応募点数並びに入選点数

() 前年度比

| | 第1科 日本画 | 第2科 洋 画 | 第3科 彫 刻 | 第4科 工芸美術 | 第5科 書 | 合計 |
|-------|-------------|----------------|-------------|--------------|-----------------|------------------|
| 応募点数 | 335 (-8) | 1,375 (-88) | 83 (-12) | 592 (-13) | 8,662 (-160) | 11,047 (-281) |
| 入選点数 | 159 (-6) | 539 (-51) | 58 (-10) | 465 (+31) | 1,114 (+2) | 2,335 (-34) |
| 新入選点数 | 16 (-9) | 49 (-9) | 10 (-7) | 36 (+5) | 163 (-3) | 274 (-23) |

新入選点数は入選点数を含む。

4. 陳列点数

() 前年度比

| | 第1科 日本画 | 第2科 洋 画 | 第3科 彫 刻 | 第4科 工芸美術 | 第5科 書 | 合計 |
|-------|-------------|--------------|--------------|--------------|---------------|----------------|
| 入 選 | 159 (-6) | 539 (-51) | 58 (-10) | 464 (+30) | 1,114 (+2) | 2,334 (-35) |
| 無 鑑 査 | 133 (+1) | 120 (-2) | 140 (-6) | 112 (-6) | 143 (-2) | 648 (-15) |
| 計 | 292 (-5) | 659 (-53) | 198 (-16) | 576 (+24) | 1,257 (±0) | 2,982 (-50) |

無鑑査＝顧問・役員・会員・準会員・前年度特選受賞者

5. 審査員および係

審査員長(理事長) 宮田 亮平

◎印 審査主任

| | 第1科 日本画 | 第2科 洋画 | 第3科 彫刻 | 第4科 工芸美術 | 第5科 書 |
|-----|---|--|---|---|---|
| 審査員 | 建畠 哲 若松 基 | 潮江 宏三 森 忠行 | 太田垣 實 関根 秀一 | 片山 まび 高橋 秀治 | 惠美千鶴子 富田 淳 |
| | 土屋 禮一 ◎渡辺 信喜 手塚 恒治 曲子 明良 山下 保子 伊東 正次 大豊 世紀 桑野むつ子 佐藤 俊介 土農 力 仲島 昭廣 野田 夕希 山本 隆 猪熊 佳子 畑中那智子 松永 敏 行近壯之助 | ◎佐藤 哲 町田 博文 大谷 喜男 熊谷 有展 田辺 知治 寺久保文宣 大渕 繁樹 岡本 猛 鍵主 恭夫 小関 修一 阪脇 郁子 田中 里奈 前田 潤 松野 行 渡邊 裕公 中土居正記 二宮 弘一 | 神戸 峰男 ◎宮瀬 富之 山田 朝彦 齋藤 尤鶴 青山 三郎 勝野 眞言 嶋畑 貢 山崎 茂樹 上床 利秋 徳安 和博 原田 裕明 廣川 政和 堀 龍太郎 槇野 仁一 切原 勇人 前田 真里 三上 健治 | ◎春山 文典 吉賀 將夫 桑原 紀子 叶 道夫 木下 五郎 武腰 一憲 藤田 仁 前川 正治 安藤 工 勝 孝 小林 英夫 曾根 洋司 田中 嘉生 西片 正 村田 好謙 西 緑 森 克徳 | 土橋 靖子 ◎星 弘道 牛窪 梧十 永守 蒼穹 有岡 郊崖 日比野博鳳 吉川美恵子 佐々木宏遠 田頭 央泐 野田 杏苑 野田 正行 吉澤 大淳 岩村 節廬 大田 鵬雨 佐井 麗雪 松村 博峰 山口 啓山 |

○印 係主任

| | 第1科 日本画 | 第2科 洋画 | 第3科 彫刻 | 第4科 工芸美術 | 第5科 書 |
|---|---|---|--|---|---|
| 係 | ○手塚 恒治 曲子 明良 山下 保子 伊東 正次 大豊 世紀 桑野むつ子 佐藤 俊介 土農 力 仲島 昭廣 野田 夕希 山本 隆 猪熊 佳子 畑中那智子 松永 敏 行近壯之助 | 大谷 喜男 熊谷 有展 ○寺久保文宣 岡本 猛 鍵主 恭夫 小関 修一 阪脇 郁子 田中 里奈 前田 潤 松野 行 渡邊 裕公 中土居正記 二宮 弘一 | 齋藤 尤鶴 青山 三郎 ○勝野 眞言 嶋畑 貢 山崎 茂樹 上床 利秋 徳安 和博 原田 裕明 廣川 政和 堀 龍太郎 槇野 仁一 切原 勇人 前田 真里 三上 健治 | 桑原 紀子 叶 道夫 木下 五郎 ○武腰 一憲 藤田 仁 前川 正治 安藤 工 勝 孝 小林 英夫 曾根 洋司 田中 嘉生 西片 正 村田 好謙 西 緑 森 克徳 | ○土橋 靖子 牛窪 梧十 永守 蒼穹 有岡 郊崖 日比野博鳳 吉川美恵子 佐々木宏遠 田頭 央泐 野田 杏苑 野田 正行 吉澤 大淳 岩村 節廬 大田 鵬雨 佐井 麗雪 松村 博峰 山口 啓山 |

6. 授 賞

| | | | | |
|-----|-----|---------|-------|------------|
| 大臣賞 | 第1科 | 文部科学大臣賞 | 能島 浜江 | 樹の一本は一つの木 |
| | 第2科 | 文部科学大臣賞 | 寺久保文宣 | ECHOー裸婦と猫ー |
| | 第3科 | 内閣総理大臣賞 | 上田 久利 | 風のおとー萌しー |
| | 第4科 | 内閣総理大臣賞 | 武腰 一憲 | 月の器・帰路 |
| | 第5科 | 内閣総理大臣賞 | 田中 徹夫 | 花の姿 |

| | | | |
|--------|-----|-------|-------|
| 東京都知事賞 | 第1科 | 手塚 恒治 | 五月の風に |
| | 第2科 | 田中 里奈 | 人生設計 |
| | 第3科 | 青山 三郎 | 時の流れに |
| | 第4科 | 叶 道夫 | 黎 紅 |
| | 第5科 | 歳森 芳樹 | 袁凱詩 |

| | | | |
|-------|-----|-------|---------|
| 日展会員賞 | 第1科 | 佐藤和歌子 | ソロモンの指環 |
| | 第2科 | 西田 伸一 | 9月・なごり |
| | 第3科 | 寺山 三佳 | 空 |
| | 第4科 | 横山喜八郎 | 沼の水中木 |
| | 第5科 | 岡野 楠亭 | 重雍襲熙 |

特 選

| | | | | |
|-----|-------|------------------|-------|---------------|
| 第1科 | 熱田 守 | 猩 猩 | 稲田 雅士 | 静かな夜に |
| | 笠川 武史 | 街 | 北川由希恵 | 刻 ヲ |
| | 木村 友彦 | 時の訪問者 | 工藤 彩 | ラビットホール |
| | 黒岩 知里 | 01(ゼロイチ). Binary | 前川 和之 | 結びつき |
| | 俣田 千尋 | やわらかな峰々 | 森 花 | 風の色 |
| 第2科 | 金築 秀俊 | GYM | 久保 尚子 | garden |
| | 佐藤 淳 | アヴェ・マリア | 関野 智子 | 青 嵐 |
| | 田辺 康二 | 遼 遠 | 福田 次子 | 山 林 |
| | 山内 大介 | プロヴァンスの道 | 山本 佳子 | 支 度 |
| | 結城 唯善 | 朧 梅 | 吉成 浩昭 | Biblio bibuli |
| 第3科 | 井上 智 | はなびら | 酒井 華 | テディベア |
| | 志村ひろこ | ベルベットの月 | 竹内 晋平 | 残 闕 |
| | 田原迫 華 | 彼岸花 | 宮地 淑江 | 海 へ |
| 第4科 | 井上絵美子 | 芽ぐむ | 大西 重広 | 風にのって |
| | 木本 一之 | α 神殿 | 葛井 保秀 | Departure 出発 |
| | 近藤 学 | 象嵌彩 晩秋の夕暮れ | 下村 純子 | Aqua・屋久島 |
| | 竹河いみ子 | 濤 | 戸出 克彦 | 光の雨 |
| | 富岡 大資 | 始まり | 西川 勝 | 月の稜線 |
| 第5科 | 赤澤 寧生 | 紅蓮の炎 | 井上 邦子 | み吉野 |
| | 小野 玲華 | つくづくと | 雲山 一弦 | 猿聲詩 |
| | 小林 千早 | 范石湖詩 | 谷口 成孝 | 稲 妻 |
| | 辻 敬齋 | 蟠屈拏攫 | 平樂 大龕 | 高青邱詩 |
| | 宮本 耕成 | 斂 蔵 | 森上 洋光 | 荘 嚴 |

7. 入場者数 合計 82,485人 (21日間)

() 前年度比

| 有 料 | 入場者数(人) | 無 料 | 入場者数(人) |
|-----------------------|--------------------|-----------------|--------------------|
| 一 般 券 | 11,529 (+1,053) | 招 待 券 | 30,421 (-1,749) |
| トワイライトチケット (一 般) | 2,969 (+264) | 小中学生無料鑑賞券 | 3,505 (-600) |
| 一 般 券 (場 外 売) | 337 (+26) | 学 生 (高・大) 無 料 | 3,628 (-414) |
| 一 般 団 体 券 | 74 (-700) | 資 格 証 | 16,034 (-3,468) |
| 一 般 前 売 券 | 1,734 (+294) | 優 待 証 | 975 (-119) |
| 特 別 入 場 券 | 10,686 (-453) | 美術家連盟・評論家連盟 | 370 (-49) |
| 新聞販売店用チケット | 223 (-103) | | |
| 計 | 27,552 (+381) | 計 | 54,933 (-6,399) |

| 月日 | 曜日 | 入場者数(人) | 月日 | 曜日 | 入場者数(人) |
|-------|-----|---------|-------|-----|---------|
| 10/31 | 木 | 3,277 | 11/13 | 水 | 3,739 |
| 11/1 | 金 | 5,149 | 11/14 | 木 | 3,998 |
| 11/2 | 土 | 2,994 | 11/15 | 金 | 3,172 |
| 11/3 | 日・祝 | 3,348 | 11/16 | 土 | 4,375 |
| 11/4 | 月・休 | 2,959 | 11/17 | 日 | 5,080 |
| 11/5 | 火 | 休館日 | 11/18 | 月 | 4,136 |
| 11/6 | 水 | 2,277 | 11/19 | 火 | 休館日 |
| 11/7 | 木 | 2,402 | 11/20 | 水 | 3,482 |
| 11/8 | 金 | 2,328 | 11/21 | 木 | 3,661 |
| 11/9 | 土 | 3,331 | 11/22 | 金 | 4,307 |
| 11/10 | 日 | 3,693 | 11/23 | 土・祝 | 6,514 |
| 11/11 | 月 | 2,904 | 11/24 | 日 | 5,359 |
| 11/12 | 火 | 休館日 | 計 | | 82,485 |

※10/31は出陳者内覧会

巡 回 日 展

第11回展分を3会場で開催。（第10回展分の金沢会場は、令和6年能登半島地震の影響に鑑み、開催中止）

| | 開催地 | 開催期間 | 会 場 | 開 催 者 | 入場者数(人) |
|-------------------|-------|-------------------------------------|--------------------------|---------------------------|---------|
| 第 10 回 展 | 金 沢 | R 6. 6. 1～ 6. 23 開催中止 | 石 川 県 立 美 術 館 | 北 國 新 聞 社 | — |
| 第 11 回 展 | 京 都 | R 6. 12. 21～R 7. 1. 18 | 京都市京セラ美術館 | 日展京都展実行委員会 | 23,905 |
| | 名 古 屋 | R 7. 1. 22～ 2. 9 | 愛知県美術館ギャラリー | 中 部 日 展 会 | 31,050 |
| | 神 戸 | 2. 15～ 3. 23 | 神戸ゆかりの美術館 神戸ファッション美術館 | 神戸市・公益社団法人日展 神 戸 新 聞 社 | 34,963 |

12 美術に関する講演会及び講習会の開催

講演会・シンポジウム・映像による作品解説等

専門的・客観的視点でのテーマを設けた講演会や、各科独自にシンポジウム形式の討論会を行うほか、日展作家が映像を使って出品作品をわかりやすく解説する。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂(入場無料) (※整理券配布)

| 開催日時 | 時間 | 講堂でのイベント |
|-----------------|-----------------------------|--|
| 11月2日 (土) | 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩 | (日本画) 映像による作品解説「自作を語る」 今年度受賞者(大臣賞・都知事賞・会員賞・特選) 能島浜江・手塚恒治・佐藤和歌子 熱田 守・稲田雅士・笠川武史・北川由希恵・木村友彦・工藤 彩 黒岩知里・森 花 (司会・進行) 土農 力 映像による作品解説(今年度審査員より) 今年度審査員 猪熊佳子・佐藤俊介・松永 敏・行近壯之助 (司会・進行) 土農 力 |
| 11月4日 (月・振休) | 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩 | (洋画) 座談会「今年度審査主任と特選受賞者による座談会」 今年度審査主任 佐藤 哲 今年度受賞者(特選)久保尚子・田辺康二・山内大介・山本佳子・結城唯善 座談会「今年度審査員と新入選者による座談会」 今年度審査員 町田博文 今年度新入選者 窪田義人・永田秀孝・松永佳江 (司会・進行) 寺久保文宣 |
| 11月9日 (土) | 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩 | (彫刻) 第11回展の見どころ 今年度審査員 知って得する彫刻散歩—鹿児島編 ～西郷、大久保像の秘密と仏教の救世主の話～ 野添浩一 彫刻女子「コスチュームの表現と着色について」語る 中村優子・野原昌代・堀内有子・安田陽子 (司会・進行) 寺山三佳 |
| 11月16日 (土) | 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩 | (工芸美術) 今年度審査員が選ぶ新鋭作品 今年度審査員 叶 道夫・村田好謙 映像による作品解説「自作を語る」 今年度審査主任 春山文典 今年度審査員 田中嘉生・曾根洋司 今年度受賞者(大臣賞・都知事賞・会員賞・特選) 武腰一憲・叶 道夫・横山喜八郎 井上絵美子・大西重広・木本一之・葛井保秀・竹河いみ子・富岡大資 (進行) 曾根洋司 (司会) 武腰一憲 |
| 11月23日 (土・祝) | 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩 | シンポジウムによる討論会「日展の書」 出席者 有岡郊崖 佐々木宏遠 永守蒼穹 日比野博鳳 吉澤大淳 岩村節廬 (司会・進行) 有岡郊崖 映像による作品解説「書」 解説者 木村通子 森嶋隆鳳 綿引滔天 (司会) 井上清雅 |

※参加人数 498名(5日間 座談会3回、シンポジウムによる討論会2回、作品解説2回)

らくらく鑑賞会

出品作家達とゆっくり全科のダイジェストを鑑賞する。自己紹介から始まり、昼食や休憩などをはさみながら、鑑賞者が、作家、作品と一歩近づいて、展覧会を楽しむ。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

| | 日本画 | 洋 画 | 彫 刻 | 昼 食 | 書 | 工芸美術 |
|---------------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|
| | 午前10:45～ | 午前11:30～ | 午後12:15～ | 午後12:50～ | 午後2:00～ | 午後2:45～ |
| 11月13日 (水) | 伊東正次 | 浅見文紀 | | | | |
| 11月18日 (月) | 諸星美喜 | 久保博孝 | 吉居寛子 | | 吉澤鐵之 | 司辻光男 |

◆参加人数・・・16名（会期中の2日間、全2回 11/13は希望により2部門、11/11は希望者少数のため中止）

ミニ解説会

一人からでも解説が受けられる。来館時、好きな部門に申し込みをすれば、少人数の解説会に参加できる。

開催日程 第11回日展会期中の平日（土・日・祝日・初日を除く）

午後1時30分～ 30分程度。

定員 各部門20名（5部門）

◆参加人数・・・468名参加（10日間）

13 美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催

わくわくワークショップ

日展鑑賞を通じて“親子で一緒に感じる、考える、話す”時間を持ち、作品との出会い、発見などの体験を共有する。素材体験から鑑賞まで。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂・研修室 各科陳列会場

| | | 指 導 者 | | | | |
|---------------|--------------|-----------------------|-------------------------------|--|--|----------------------|
| | | 日本画 | 洋 画 | 彫 刻 | 工芸美術 | 書 |
| 11月3日 (日) | 午前 10:30～ | 能島浜江 丸山 勉 米田 実 | 天野富美男 桑原富一 渡邊 明 小川満章 | | | 井上清雅 河西樸堂 吉澤劉石 |
| | 午後 2:00～ | | | 中原篤徳 寺山三佳 吉岡 徹 鈴木紹陶武 廣川政和 前田真里 | 川口 満 武田 司 山口和子 岩淵浩之 斉藤卯乃 中島敦子 | |
| 11月10日 (日) | 午前 10:30～ | 亀山祐介 稲田亜希子 安田敦夫 | 井上 武 菊池元男 前原喜好 佐藤祐治 | | | 歳森芳樹 岡野楠亭 岩井秀樹 |
| | 午後 2:00～ | | | 中村優子 吉岡 徹 堀内有子 上田ふみ 小関良太 三上健治 (サポート) 山田朝彦 | 安藤 工 曾根洋司 林 香君 福富 信 森 克徳 村山恵子 | |
| 11月17日 (日) | 午前 10:30～ | 川田恭子 野田夕希 森 美樹 | 田辺知治 前田 潤 | | | 植松龍祥 野田杏苑 岩村節廬 |
| | 午後 2:00～ | | | 原田治展 村山 哲 安田陽子 切原勇人 境野里香 (サポート) 吉岡 徹 | 兼先恵子 安藤タヅ子 上原利丸 田中嘉生 西 緑 平林芳子 山本恭子 (サポート) 林 香君 | |

◎総参加人数 81 組 206 名

わくわくワークショップ—特別編—「手紙を書こう！」

日展を鑑賞して、好きな作品の作家に手紙を書く。会場内のポストに投函すると、後日作家から返信が届く。鑑賞して思ったことを「言葉」で伝える。

対象 小学生～高校生

◎ 投函数 394 通

夏休み1日ART体験「第19回 Oneday Art」

「作品をつくる」体験をし、作品や作家とのかかわりを通して多様な世界観を学んでほしい—という日展の芸術文化普及活動。

制作した作品は鑑賞プロジェクトチームの指導のもとに陳列、8月17日から8月21日まで日展会場において展示した。参加者以外にも一般の鑑賞者、日展会員などたくさんの人が訪れた。

※共同制作の作品は、この他日展会場、パブリックスペースでも展示。

主催 公益社団法人 日展

後援 台東区教育委員会 荒川区教育委員会

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」

場所 日展会場・イベントスペース 他

| | | 指導作家 | 時間 | 参加人数 | 内 容 |
|--------------|-----------------|--|--|------------|---|
| 7月21日 (日) | 彫刻 | 吉岡 徹 中原篤徳 廣川政和 寺山三佳 (サポート) 堀内有子 鈴木紹徳 安田陽子 境野里香 (オブザーバー) 山田朝彦 | 13:30 ～ 16:00 | 37組 60名 | ・『私の好きな○○』 —好きな生き物ややってみたいこと、○○を考えてみよう— ●彫刻に関する基礎知識を学ぶ。 ●(子供) 芯棒で形を作り、紙粘土でイメージした形の肉付けをする。 ●吊るすための金具を取り付ける。 ●講評。片付け。 ●(中学生・保護者) テラコッタで頭像を作る。 作品は、乾燥させた後、焼成する。 |
| 7月27日 (土) | 工芸美術 (金工・七宝) | 小島泰明 勝 孝 田中照一 中村三喜雄 古瀬政弘 石黒美男 手銭吾郎 (サポート) 林 香君 | 13:30 ～ 16:00 ※希望者 多数のため、午前と 午後2回開催 | 42組 56名 | ・『私だけのペンダント』 ・金工と七宝の技法を使って ペンダントヘッドやキーホルダーをつくる。 ●金工と七宝の技法と特徴を説明。 ●鑿による打刻方法で、2 cm角の銀のプレートに模様を制作。ひもを通す穴をあける。 ●凹み部分に好きな色の七宝釉薬を入れる→乾燥→焼成。 ●穴にひもを通し完成。 ●講評。片付け。 |

| | | | | | |
|--------------|-----|--|---------------------|------------|--|
| 7月28日 (日) | 洋画 | 田辺知治 桑原富一 佐藤祐治 田中里奈 前田 潤 茅野吉孝 (オブザーバー) 佐藤 哲 | 13:30 ～ 16:00 | 25組 37名 | <ul style="list-style-type: none"> ・『どんな顔だろう?』(油彩) ●油彩画の特徴 油絵具の使い方を学ぶ。 ●作家のデモンストレーション ●F4のキャンバスを使い、鏡を見ながら自分の顔を木炭でスケッチ。 ●油彩で着色。 ●描きあがった作品にサインを入れる。 ●額に入れてみる。講評。片付け。 |
| 8月3日 (土) | 書 | 井上清雅 綿引滔天 植松龍祥 岩井秀樹 (サポート) 角田大壤 松浦龍坡 尾花太虚 滑田燿齋 (オブザーバー) 高木聖雨 | 13:30 ～ 16:00 | 23組 34名 | <ul style="list-style-type: none"> ・『毛筆文字に親しもう!』 ・木の板に好きな文字を書く。 自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。 ●書に関する基礎知識を学ぶ。グループ分けし、それぞれの工程を時間差で体験する。 ●木の素材に自分の名前や好きな文字を書く。色々な書体で書いてみる。 ●自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。 ●オリジナル切手用に一文字の作品を仕上げる。 ●講評。作品撮影。片付け。 ●後日 (→つくった作品を切手に) |
| 8月4日 (日) | 日本画 | 亀山祐介 川田恭子 能島浜江 岩田壮平 (サポート) 野田夕希 安田敦夫 櫻井伸浩 | 13:30 ～ 16:00 | 22組 44名 | <ul style="list-style-type: none"> ・『涼しい絵』 ●作品例を見せながら日本画の特徴を説明。 画材(岩絵具や麻紙)や、日本画の基本的な技法を学ぶ。 ●制作の工程を説明。 作家のデモンストレーション ●色紙に、各自用意してきたデザイン画を元に岩絵具などで描いた後、乾かす ●掛け軸風に用意した「たとう」の台紙に作品を接着する。 ●講評。片付け。 ○自然の色の美しさと調和を実感してもらう。 ○実際に岩絵具と膠を指で溶き、描いてみる。独特の質感を楽しむ。 |

| | 実施内容(共同制作) ※1500×850mm1枚もしくは750×850mm2枚パネル |
|-----------------|--|
| 日本画 | 『空想の花を描く』 ●はがき大の和紙に、それぞれが想像した花を描く。 ●担当作家が描いたバックに、麻紙ボードを貼っていく。 |
| 洋画 | 『それぞれの平和』 ●油彩で0号のキャンバスボードに「平和」のイメージを描く。 ●作家が描いた背景に、キャンバスボードを貼っていく。 |
| 彫刻 | 『たのしい虫の世界』 ●自分の想像した虫をカラフルな粘土やビーズなどの材料を取り混ぜて制作する。 ●作家の用意した背景のパネルに「虫」を取り付ける。 |
| 工芸美術 (金工・七宝) | 『みんなつながろう!』 ●金属の造形性を体験するために、共同制作の『みんなつながろう!』というテーマで、各々が金床の上で鑿を使い打刻して自然に曲がる形を利用し、「O」型や「S」型を制作。鎖のパーツを作り、つなげる ●輪を組み合わせて鎖にし、つないで一つの作品にする。 |
| 書 | 『筆と友だちに』 ●ハガキ大の半紙に好きな文字を書き、切手シートにする(後日→パブリックスペース陳列用) |

◎総参加人数 97 組 173 名

14 研究冊子及び図書の刊行

出版企画実施内容（令和6年度中に刊行または印刷）

第11回日展目録

- [判 型] B5判（タテ18.2cm×ヨコ25.8cm）72頁
[発 行 日] 令和6年11月1日
[発行部数] 2,500部
[定 価] 100円 [税込]
[内 容] 東京会場全陳列作品題名および作家名・現住都道府県名を掲載
授賞理由、展示早見表など諸資料掲載
[表 紙] 神戸峰男
[製 作] 株式会社新協

第11回日展作品集

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）152頁 570点掲載
[発 行 日] 令和6年11月1日
[発行部数] 2,300部
[定 価] 3,400円 [税込]
[内 容] 全会員・審査員・受賞者の出品作品をオールカラーで収録
作家名・作品題名の英訳（巻末）、諸資料掲載
別冊資料：作家本人による作品解説・釈文（書）掲載 40頁
[表 紙] 土屋禮一・藤森兼明・神戸峰男・宮田亮平・真神巍堂（出品作・部分）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第11回日展図録（日本画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）68頁 292点掲載
[発 行 日] 令和6年11月6日
[発行部数] 1,400部
[定 価] 3,400円 [税込]
[内 容] 日本画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 土屋禮一（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第11回日展図録（洋画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）136頁 659点掲載
[発 行 日] 令和6年11月6日
[発行部数] 2,400部
[定 価] 3,400円 [税込]
[内 容] 洋画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 藤森兼明（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第11回日展図録（彫刻）

[判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）52頁 198点掲載
[発 行 日] 令和6年11月6日
[発行部数] 500部
[定 価] 3,400円 [税込]
[内 容] 彫刻部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 神戸峰男（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第11回日展図録（工芸美術）

[判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）120頁 577点掲載
[発 行 日] 令和6年11月6日
[発行部数] 1,200部
[定 価] 3,400円 [税込]
[内 容] 工芸美術部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、技法表記、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 宮田亮平（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第11回日展図録（書）

[判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）220頁 カラー204点、モノクロ1,053点、合計1,257点掲載
[発 行 日] 令和6年11月6日
[発行部数] 3,300部
[定 価] 3,400円 [税込]
[内 容] 書部門の全陳列作品を全会員・審査員・てん刻はカラー、他はモノクロで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 真神巍堂（出品作）
[製 作] 富士美術印刷株式会社

絵はがき（オフセット印刷）

[判 型] はがきサイズ（10.5cm×15cm）
[定 価] 400枚単位—25,000円 [税込] （売店販売定価1枚—150円 [税込]）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社、半七写真印刷工業株式会社、富士美術印刷株式会社

カラー写真

[判 型] キャビネサイズ（12.7cm×17.8cm）
[定 価] 10枚単位—6,600円 [税込] （売店販売定価1枚—400円 [税込]）
[製 作] ツツラボ

日展ニュースの発行

| | | | |
|-------|-------------|------|---------|
| 第187号 | 令和6年6月30日発行 | 発行部数 | 19,500部 |
| 第188号 | 令和6年9月30日発行 | 発行部数 | 20,000部 |
| 第189号 | 令和7年2月17日発行 | 発行部数 | 19,600部 |

15 美術に関する研究及び調査

日展会館企画実施内容

[会館スペースの貸出し]

展覧会場や会議・研究会の場として、会館スペースの貸出しを行った。

(展覧会)

| 名 称 | 展 示 内 容 | 開 催 期 間 | 会 場 |
|--------------------------|---------|---------------------|------|
| 第17回プラチナアート大賞展2024 | 絵画作品 | 令和6年 5月24日～5月26日 | 日展会館 |
| 慶應義塾中等部 美術部 OB・OG・現役展 | 絵画作品 | 令和7年 1月16日～1月19日 | 日展会館 |
| 公募 日本の絵画2024 | 絵画作品 | 令和7年 3月8日～3月9日 | 日展会館 |
| 第4回スケッチ研究会作品展 | 絵画作品 | 令和7年 3月14日～3月16日 | 日展会館 |

(会議・研究会・教室等 使用団体)

一般社団法人 新極美術協会
芥子園研究会
公益社団法人 日本新工芸家連盟 関東地区会
公益社団法人 日本彫刻会
秀彩会
新日春会
スケッチ研究会
東京地区合同絵画研究会
永井画廊
日本美術研究授業
白日会
蒔絵の会

(令和6年度会館スペース貸出収入) *金額は税込

合計 1,397,700円 前年度比 +390,600円

[自主企画展]

会館スペースを利用し、自主企画展(入場無料)を開催。

| 名 称 | 展 示 内 容 | 開 催 期 間 | 会 場 |
|----------------------|--|---------------------|------|
| 第19回Oneday Art 作品発表会 | ワンデイアート参加者の 制作による日本画・洋画・ 彫刻・工芸美術・書作品 | 令和6年 8月17日～8月21日 | 日展会館 |